

2018年11月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

11月11日【CIBERCUBA】

“2018年ビジャ・クララで出生率が微増”

ビジャ・クララ県の総人口は78万9167人。そのうち60歳以上が18万2382人（総人口の23.11%）でプラセタス市、シフエンテス市、レメディオス市、クロスロード市、カマフアニ市ではより、高齢化が進んでいる。

2002年以降人口は減少傾向であったが、今年の1月以降5739人の子供が生まれ、出生率は微増した（2017年より136人増加）。

2030年にはキューバは3人に1人が60歳以上となり、高齢化社会が問題となっている。

11月12日【CUBADEBATE】

“カタールのキューバ病院が Press Ganey 2018 年国際看護優秀賞を授与”

カタールのドゥカーンにあるキューバ病院は、2015年に引き続き Press Ganey 2018 年 NDNQI（全米看護質指標データベース）看護優秀賞を受賞した。

* Press Ganey：民間医療コンサルタント会社。NDNQIのデータ管理を行っている

11月15日【Diario de Cuba】

“ガイアナ大統領、キューバで癌治療”

ガイアナ大統領のデビット・グランガー氏73歳は、当初10月下旬に夫人と共にハバナを旅行中と言われていた。10月30日CIMEQ病院にて非ホジキン・リンパ腫と診断され、11月1日に手術が行われた。大統領は5日後には退院したが、まだ在キューバ・ガイアナ大使館におり、数日後CIMEQ病院に再入院して第2段階の治療を受ける予定。

11月15日【CUBADEBATE】

“ブラジル自治体協会は、ボルソナーロ次期大統領にキューバ保健省の決定を取り消すよう求める”

キューバ保健省が“Mas Medicos”プログラムから離脱する決定をした。ブラジル自治体協会は、大統領に選ばれたボルソナーロに対して、直ちにキューバ政府の離脱の決定を取り消してもらおうよう要請した。

2013年に医師を雇うことができず、住民に対して基礎的な医療が提供できないというブラジル自治体協会の要求に応えるために時の大統領と保健省大臣が“Mas Medicos”プログラムを作成した。このプログラムにより、外国人医師（多くがキューバ人医師）はブラジル人医師が嫌がる先住民地区や僻地に赴任した。最近5年間の汎米保健機構（PAHO）のデー

タによると、700以上の市町村でこのプログラムにより初めて医師が赴任し、約1100の市町村でこのプログラムにより基礎的な医療が100%カバーされるようになった。8500人のキューバ人医師がこのプログラムにより活動している。キューバ人医師は2885の市町村に赴任し、多くがブラジル北部で先住民地区や僻地である。1575の市町村ではキューバ人医師しか医師はいない。これらの市町村の80%は人口2万人未満の小都市で、それまではブラジル人医師の派遣を要請しても受け入れてもらえなかった都市である。以上のデータよりブラジルにおける自治体でのキューバ人医師の重要性が明確となっている。

11月21日【CUBADEBATE】

“ラテンアメリカ医科大学創立20周年”

ハバナにあるラテン医科大学は、1999年11月15日に創設され、20周年を迎えた。2005年に最初の卒業生として26ヶ国1610人の医師を輩出した。ラテンアメリカ医科大学は1998年11月に中央アメリカをハリケーン・ミッチェにより中米諸国が壊滅的な被害を受けた際に、キューバは被災した国々に医師を派遣するだけでなく、医師の養成プログラムを作成した結果設立された。主に中米の若者が1900人で1999年2月に授業が開始された。現在、ラテンアメリカや米国の24ヶ国から7000人以上の学生を擁し、創立20周年を迎えた15回目の卒業に際しては全大陸からの若者に対して医師の称号を授与する。2005年の最初の卒業以来、105カ国の28,500人以上の医師がラテンアメリカ医科大学を卒業した。

11月25日【CUBANET】

“汎米保健機構（PAHO）はバルバドスでのキューバの医療任務に資金提供”

キューバ人医師はアルツハイマー病支援プロジェクトのためにバルバドスに派遣される。またバルバドス保健省は、アルツハイマー病支援プロジェクトだけでなく、Heberprot-Pを用いた糖尿病治療プログラムや肺癌ワクチン等、キューバの医薬品の購入を考えている。